

和歌山だよいい

平成23年

1月号



お燈まつり (新宮市)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P9
4. ふるさと歳時記…………… P10



ハコベ (春の七草)

「年頭のごあいさつ」

皆様、あけましておめでとうございます。

去る 11 月 28 日の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様の御支持を頂き、引き続き県政の舵取りをさせて頂くことになりました。今回の選挙は、私がこれまでの 4 年間に、県民の皆様^{かじ}の御支援、御協力を頂きながら、職員と一丸となって進めてきた「元気な和歌山」を創造する県の取組に対する「県民の審判」と考えておりましただけに、多数の県民の皆様^{かじ}の御支持を頂きましたことは、本当にありがたいことだと思います。

と同時に、選挙期間中、県内各地を隈無く^{くまな}回らせて頂き、県民の皆様が、長く厳しい景気低迷の中で、お仕事に、日々の生活に、本当に大変な思いで、歯を食いしばって頑張っておられることをあらためて実感いたしました。そして、この状況を改善してほしいとの県民の皆様^{かじ}の期待感を強く感じました。かくなる上は、将来の発展を見据えた実効性のある政策によって「和歌山を元気」にするために、再び全身全霊をあげて取り組まなければなりません。

今、我が国は、人口減少や少子高齢化の問題、地球規模での環境の問題等、長年の懸案課題に加え、急激な円高が我が国経済に与える影響や領土問題も含めた国際関係の緊張の高まり等、喫緊の課題が山積し、重要な局面を迎えております。その課題は、特に本県のような地方圏に対し試練を与えます。しかし、乗り越えられない試練はないとの覚悟のもとに、これに全力で、かつ最も効率的、効果的な施策をもって立ち向かわなければなりません。

この 4 年間、県民のすべての方々^{かじ}の御努力によって、和歌山は新しい時代を迎えつつあります。不祥事の不名誉はすすぎ、県財政は健全の方向へ向かい、安全安心は少しずつ向上しつつあり、また、経済の指標にも過去とは違った改善の傾向も出てまいりました。しかし、まだまだ十分ではありません。まだまだ試練は続きます。

しかし、県民の皆様が力を合わせ、ここまで来られたではありませんか。それならば、さらに力を合わせてもっと進みましょう。和歌山を元気に、あたたかい改革で、そして 100 万人の県民の皆様が力を合わせて、常に前を向いて、ひたむきに取り組みましょう。



「ふるさと祭り東京 2011」での仁坂知事。
(関連記事 P3)

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●スーパー駅長「たま」が“和歌山県観光まねき大明神”に！！

・1月5日、和歌山電鐵貴志川線の「貴志駅」で、仁坂知事、大橋和歌山市長、中村紀の川市長、山田県議、岸本県議が出席し、「たま駅長就任4周年記念式典」が盛大に開催されました。

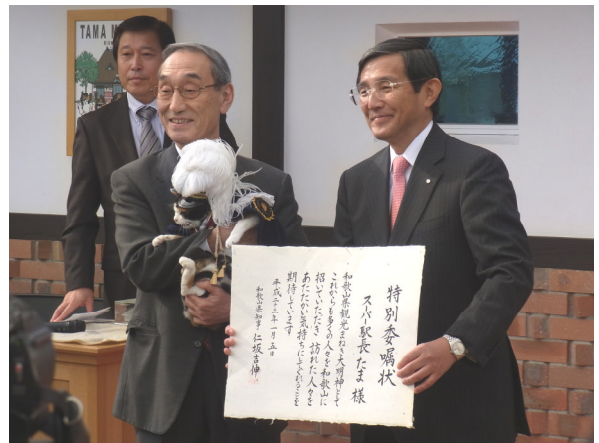
・式典では、たま駅長が様々なメディアに取り上げられ、観光客の誘致や和歌山県の認知度向上に貢献した功績を讃えるとともに、今後一層の活躍を期待して、知事から“和歌山県観光まねき大明神”の特別委嘱状を交付しました。（下写真）

・「たま駅長」は、平成19年1月の駅長就任当初から人気を博し、フランスのドキュメンタリー映画や韓国の大韓航空のコマーシャルに出演するなど、国内外へ強力な情報発信力を発揮してきました。

・県では、平成20年に和歌山県勲功爵（わかやま で ナイト）の称号を、たま駅長に授与しています。今後も国内外に向け、和歌山県の魅力を発信し、多くの人々を和歌山に招き、訪れた人々をあたたかい気持ちにしてくれることを、たま駅長に期待しています。

・同日、たま駅長は、会社のナンバーズリーにあたる常務執行役員に昇格し、和歌山電鐵小嶋光信社長から辞令を渡されると、「（世界のお客さんを招くよう頑張る）にゃー」と愛嬌を振りまきました。

・貴志駅の駅舎内には、就任4周年を記念して、たま駅長の肖像画が飾られています。（右写真）



●平成23年新年名刺交換会開催

・1月5日、平成23年新年名刺交換会を県庁の正庁で開催しました。

・仁坂知事は「安心して暮らせる和歌山をつくっていかなくてはならない。飛躍の年となるよう決意を新たに頑張りたい。」と挨拶しました。

・和歌山県産品の梅ジュースで乾杯の後、知事をはじめとする県幹部と、県内の経営者、団体の役員などあらゆる分野の方々が、始終和やかに名刺交換や情報交換を行いました。

・会場の後方には「プレミアム和歌山」の紹介コーナーを設け、参加者の皆さんをもてなしました。



● 「ふるさと祭り東京2011」に「わかやま横丁」を出展！！
 ～ 今年も大規模な出展で和歌山のうまいもんをPR ～

・1月8日～16日、東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京2011」に、昨年度に引き続き「わかやま横丁」を出展しました。

・「ふるさと祭り東京2011」は、県産品を首都圏の消費者にPRする絶好の機会であり、県内からは、みかんジュースや梅酒、熊野牛カレー、梅スイーツ、梅干しなど（下記参照）を出展し、自慢の特産品の販売を行うとともに、インターネットショッピングモール「ふるさと和歌山わいわい市場」がその場で体験できるコーナーの設置やプレミア和歌山の展示などを行いました。また、「第2回ご当地どんぶり選手権」には、昨年にも引き続き、b o d a i（那智勝浦町）「鮪中とろカツ丼」がエントリーしました。

・開催期間中の来場者は約38万人にのぼり、大変な賑わいでした。

・9日には、仁坂知事が来場し、「和歌山の日」と銘打って先着300名に南高梅の梅干をプレゼントするとともに、「ふるさとステージ」では、平安衣装を着た司会者と知事で、観光と特産品をPR。また、「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」「梅干、みかん、柿の機能性」「和歌山は醤油やかっお節など日本の食文化発祥の地」「プレミア和歌山」等を紹介しました。

・続いて、プレミア和歌山にも認定されている「黒潮市場」のマグロの解体ショーを実施。

会場いっぱい集まった観客は、50キロもある本マグロを包丁一本で捌く迫力ある職人の姿に見入っていました。終了後、わかやま横丁で県産本マグロ200人前を配布し、和歌山のマグロのおいしさを堪能していただきました。



今回出展された皆さん

- 梅スイーツ、梅干し：紀州梅干し専門店 福梅本舗（白浜町）
- 梅干、梅加工品：紀州田辺うめ振興協議会（田辺市）
- イノシシ肉加工品：紀州焼猪（橋本市）
- 熊野牛カレー、ドレッシング：フランス料理専門店 JOY味村（和歌山市）
- 鯨肉、鯨加工品：有限会社カネヨシ由谷水産（太地町）
- 笹寿司、冷凍寿司：北畑商店（有田市）
- うすかわ饅頭、和菓子：儀平菓舗（串本町）
- ジュース、柑橘加工品：伊藤農園（有田市）
- ソフトアイス：那智かまぼこセンター・那智山蓬莱閣（那智勝浦町）
- 梅酒、みかん：紀州薦屋（株）酒のかまくら（田辺市）

● 「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」開催！！

■ **キャンペーンオープニングイベント**

・1月14日、和歌山県の首都圏大型集中キャンペーン「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」オープニングイベントが、六本木ヒルズで開催されました。

・仁坂知事が、首都圏のマスコミ、旅行エージェント、百貨店等バイヤー関係者を前に、プレゼンテーションを行い、「和歌山県は東京からも意外と近いこと」や「パワースポットが世界遺産エリアを中心にたくさんあること」、「海の幸、山の幸、果物が豊富であること」など、県の魅力を大いにアピールしました。みなべ町長による梅のPRをはじめ、各出展団体（26団体）からもプレゼンテーションを行うとともに、和歌山県出身アーティスト「ウインズ」によるスペシャルライブにより、会場を盛り上げました。



「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」！！

■ **和歌山 AD トレイン (JR 山手線)**

・1月16日から、山手線で、和歌山の魅力を伝える広告と、首都圏旅行エージェント6社（JTB、KNT、クラブツーリズム、阪急交通社、JAL ツアーズ、南海国際旅行）の和歌山旅行商品ポスターを掲出する「和歌山 AD トレイン」が運行を開始しました。



■ **その他のキャンペーンイベント**

○ **和歌山公開講座 「和歌山てらこや」の集中開催**

魅力を知ってもらうための公開講座を集中実施

日時：1月25日（火）～28日（金） 各日14：00～

場所：八重洲ブックセンター 8F ギャラリー

内容：道成寺絵巻、小栗判官照手姫物語、高野山修行体験（瞑想（阿字観）・写経・法話）

○ **首都圏書店プロモーション**

首都圏の代表的な書店（本店、支店）でブックカバーを配布しました。（紀伊國屋書店新宿本店、丸善丸の内本店、リブロ本支店 全55店舗）



○ **関連イベント等**

・ **紀州和歌山特集 【1月26日（水）～31日（月）：伊勢丹本店】**

梅干しや釜揚げしらす、みかんジュースやスイーツ等の和歌山を代表する食品を伊勢丹地下1階フロアにて販売します。

・ **世田谷区 NEW YEAR チャリティコンサート 【1月30日（日）：世田谷区民会館】**

和歌山県出身のアーティストである「ウインズ」や「古家 学」によるコンサートを行います。

●「広州2010アジアパラ競技大会」水泳競技出場 中村智太郎選手（水泳競技100m平泳ぎ 1位）が県庁を訪問！！

・1月7日、昨年12月に中国・広州市で開催された「広州2010アジアパラ競技大会（アジア地域における障害者スポーツの総合競技大会）」の水泳競技 男子100m平泳ぎで、アジアレコード（1位 タイム1分23秒97）を出し、金メダルを獲得した中村智太郎選手（橋本市在住）が仁坂知事を訪問しました。



・生まれつき両上肢欠損という障害のある中村選手は、今大会で平泳ぎだけでなく、男子100m背泳ぎにも挑戦し、みごと6位に入賞しました。
 ・知事は、「ロンドンパラリンピックでも頑張ってください」と応援メッセージを送りました。

●「秋葉山公園県民水泳場」整備概要（平成25年3月完成予定！）

・平成27年紀の国わかやま国体に向け、老朽化が進む秋葉山公園県民水泳場の建て替えについての整備計画がまとまりました。



新施設のイメージ図です。

・県民水泳場は、①子供から高齢者、障害者を含めた全ての人に安全で利用しやすい施設、②公園施設にふさわしく、周辺景観・環境と調和する施設③水泳競技の中核拠点となる施設であることをテーマに計画しました。

・天井には、紀州材をふんだんに使用するとともに、2千の観客席を設け、国体はもとより、国際大会、全日本大会などが開催できる施設になります。

・平成25年3月には完成、国体までの間、県内の選手は、この施設でしっかりと練習することにより、能力アップを図ることが出来ます。県では、国体の開催に向け、あらゆる準備を着々と進めています。

【施設概要】

- | | |
|----------|---|
| (1) 階数 | 地上2階、地下3階 |
| (2) 面積 | 延べ面積 25,251㎡ 建築面積 8,556㎡ |
| (3) 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート（一部鉄骨）造
・子供プール（屋外プール）
・50mプール（10コース）
・25mプール（8コース） |
| (4) 総事業費 | 約9.6億円（現有施設の撤去解体工事費含む。） |

●関西広域連合の設立後初めての議会が開催！

・1月15日、大阪市で「関西広域連合（平成22年12月1日設立）」の設立後初めての議会が開催されました。

・本県からは、仁坂知事が副広域連合長兼広域職員研修担当委員として出席しました。また、関西広域連合議会議員として選出された尾崎（要二）県議と吉井県議が出席しました。

・仁坂知事は議会冒頭の挨拶で、「副広域連合長として、井戸広域連合長を助け、広域連合の円滑な運営に尽力します。また、広域職員研修担当委員として、広域的な視点で関西全体のことを考えていけるような人材の養成に努めていきます。」と発言しました。

・臨時議会では、議長に吉田利幸議員（大阪府議会）、副議長に村田正治議員（京都府議会）が選出され、「議会定例会の回数に関する条例」など広域連合長提案の26議案が全て可決されました。

・広域連合議会が発足し、これで車の両輪が揃ったこととなります。

今後、関西広域連合が効果的な施策を実行していけるよう、本県としても尽力していきたいと考えています。



●本県への企業立地件数が85件になりました！

・この度、「スターゼン西日本販売株式会社」と「東京製綱株式会社」の企業進出により、平成19年以来の企業立地件数が85件となりました。

①スターゼン西日本販売株式会社は、食肉ディーラー国内トップのスターゼン株式会社（東証1部上場）のグループ企業で、食肉等の卸売、ハム・ソーセージ他加工食肉の製造販売を行う企業です。

・和歌山市西浜に新設する物流拠点では、現在、南大阪営業所（大阪市）が行っている和歌山県への出荷業務を完全移管し、配送の効率化、販路の拡大を図ります。

②東京製綱株式会社（東証1部上場）は、鉄鋼の二次製品の製造販売を行っている企業で、和歌山市雑賀崎工業団地にある同社の和歌山分工場の隣接地に、新たに工場を増設することとなりました。

・工場では、太陽光発電装置に使用するシリコンウェハーのインゴット（固まり）をスライスする極細鋼線（ソーワイヤ）を製造します。太陽光発電装置の需要増加に対応し、ソーワイヤの生産能力を増強することとしたものです。

- ①「インターネット・ジャパン」及び「エレクトロテスト・ジャパン」
- ②海外展示会「ニューヨーク国際ギフトフェア2011ー冬展」
- ③「アンビエンテ」に県内企業が出展！

①1月19日～21日にかけて東京ビッグサイトで開催される「インターネット・ジャパン」及び「エレクトロテスト・ジャパン」へ県内企業が出展します。

・今回出展する企業は以下の通りです。

- 1) アイエムティー 株式会社（日高郡印南町） 出展物：試料研磨装置ほか
- 2) 株式会社 環境テクノス（和歌山市） 出展物：超純水製造装置ほか
- 3) 太洋工業 株式会社（和歌山市） 出展物：シートフィルム表面検査システムほか
- 4) 阪和電子工業 株式会社（和歌山市） 出展物：コンパクト ESD 試験器

・この展示会は半導体や電子機器などのエレクトロニクス製造・実装に関するアジア最大の展示商談会で、商談や受発注の獲得に重点を置くことを特長とします。来場者数は約7万人、出展者数は約1,350社となっています。

②1月30日～2月3日にかけてジェイコブ・ジャビッツ・コンベンションセンター（米国／ニューヨーク）で開催される「ニューヨーク国際ギフトフェア」へ県内企業が出展します。

・今回出展する企業は以下の通りです。

- 1) 東和産業株式会社（海南市） 出展物：棚敷シート、シリコン製キッチン小物等
- 2) 大洋化学株式会社（御坊市） 出展物：衣類・布団用圧縮袋、R-PET 製キッチン小物等
- 3) ニッテイド株式会社（海南市） 出展物：5本指ソックス

・年2回開催される全米最大規模のギフトフェアで、米国はもちろん世界各国からバイヤーが日用品や生活雑貨などユニークな商品を求めて集まることで知られています。来場者数は約3.5万人、出展者数は約2,800社となっています。

③2月11日～15日にかけてフランクフルト国際見本市会場（ドイツ／フランクフルト）で開催される「アンビエンテ ～国際消費財見本市～」へ県内企業が出展します。

・今回出展する企業は以下の通りです。

- 1) アイセン工業株式会社（海南市） 出展物：浴用アイテム（ボディタオル、ボディスポンジ等）
- 2) 株式会社小久保工業所（海南市） 出展物：洗顔用泡立てネット、トイレ関連製品等
- 3) 東和産業株式会社（海南市） 出展物：棚敷シート、シリコン製キッチン小物等

・世界最大規模を誇る消費財見本市で、購買を目的とする来場者の割合が高く、全体の6割を小売・卸売業が占め、大ロットでの発注を期待するバイヤーや購買決定権を持つ管理職以上の役職者が多数来場することで知られています。来場者数は約13万人、出展者数は約4,500社となっています。

・上記3展示会への出展は、昨年4月に県が策定した「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2010」に基づく事業として行っています。



まるがじりわかやま

和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

黒潮育ちのイセエビ



平成20年イセエビの漁獲量(農林水産統計)

順位	都道府県	漁獲量(t)
1	千葉	301
2	三重	222
3	和歌山	157
4	静岡	141
5	鹿児島	96

高級食材として知られているイセエビ。

和歌山県でも多く水揚げされていることはご存じでしたでしょうか？和歌山県は、千葉県・三重県について全国第3位の漁獲量。主な漁場は日高町～新宮市海域の沿岸にかけてで、田辺市～最南端・潮岬海域では漁獲量が少なめですが、サイズは非常に大きく、1kg 超えの大型のイセエビが獲れることも珍しくありません！一方、串本町～新宮市海域ではサイズはやや小型ですが、たくさん漁獲されます。

黒潮に生まれ、引き締まった肉厚な身と濃厚な味わいのある和歌山のイセエビはプロの料理人からも高い評価を得ています。旬は10月から3月頃までとなっています。ぷりぷりとした食感を味わうことができる刺身をはじめ、鍋や焼き物、味噌汁など黒潮育ちのイセエビを存分にご堪能ください。

ドーンとイセエビ丼

「すごい!!!」と思わず叫びたくなるようなイセエビ丼。丸ごと1匹を使った贅沢な一品です。こちらは、本州最南端・串本町大島にある檜野釣り公園センターのレストランで1月末までの限定メニューとして味わって頂けます。他にも、イセエビちらし丼やイセエビあんかけ丼もどうぞ♪

南紀串本は冬場でも比較的あたたかいところなので、のんびり海鮮グルメ旅を楽しんでみてはいかがでしょうか？



イセエビのみそ汁や小鉢等付で2500円

☆串本のおすすめスポット☆

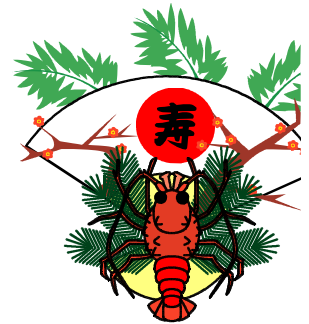
- ・ラムサール条約に登録された神秘的な海
- ・トルコ記念館
- ・本州最南端にある潮岬灯台など

詳しくは→<http://www.kankou-kushimoto.jp/>

お歳暮・おせち料理

日本人はエビが大好き！昔からイセエビは曲がった腰と長いヒゲという見た目から、鶴や亀と並んで“長寿のシンボル”とされ、祝いの席にはかかせない食材となっています。

年末年始はイセエビを振る舞ってみてはいかがでしょうか？お歳暮、おせち料理で大活躍すること間違いなし！



和歌山県イセエビdeフレンチ

先日、東京にある高級レストラン「THE CRESCENT(クレッシェント)」の磯谷料理長から編集部へ素敵なお手紙が届きました。クレッシェントのある結婚パーティで、新郎新婦のご両親の出身地にちなんだ食材を料理に盛り込むことがテーマだったそうです。その出身地が“和歌山県と徳島県”ということで、磯谷料理長はすさみ町で水揚げされたイセエビと阿波尾鶏を一皿の上で合わされたとのことでした。(写真右)



ウエディングとフレンチとイセエビ。とてもロマンチックな組み合わせですね♪

第5回わかやま産品商談会in大阪

今年度もバイヤーさんを対象とした「第5回わかやま産品商談会 in 大阪」が開催されます！和歌山県でもイセエビが漁獲されるということをPRしようと、第3、4回に開催された商談会のガラガラ抽選の一等賞にはイセエビが用意されました！

今年も、下記日程で開催される予定で、和歌山県の産品を大いにPRする予定です。



第4回の様子

日時：平成23年2月15日(火) 13:00～17:00(予定)
会場：大阪マーチャングイズ・マート 2階Cホール
出展者数：梅干し、みかん加工品など約80社

ふるさと歳時記（新宮市編②）

～ 悠久の歴史（お燈まつり・熊野速玉神社）、熊野川
徐福伝説と天台烏薬 新宮市 ～

お燈まつり（表紙写真）

・勇壮な祭りとして有名なお燈まつり。毎年2月6日の夜、神倉山の山頂から白装束を着た男たち数百人が松明を片手に石段を駆け降ります。神倉神社の火祭り「お燈まつりは男のまつり 山は火の滝 下り竜」と新宮節にも唄われています。

熊野速玉大社

・神倉神社から現在の地に移されたので新宮と呼んだともいわれている熊野速玉大社。主祭神速玉大神は、水の勢いを神格化したものと考えられています。境内の榎（なぎ）の木（葉）は、昔から神の木と伝えられ、その葉が熊野詣の記念品となりました。「榎」は「風ぐ」に通じ、安全・平和の意味があるとされています。



熊野川

・「川の熊野古道」といわれる熊野川。熊野三山に中辺路ルートで参詣する時、熊野川の舟運を利用することが多いことからです。兩岸に山が迫り、滝や奇岩が美しい峡谷は、昔からの名所。

また、10月16日の御船祭の舞台、御船島は熊野速玉大社の神の「泊まる」川中島。熊野の神々が神倉より速玉の地に来臨した様子を再現した御船祭は、古くからある熊野速玉大社の例大祭。紀南随一の船祭として名高い。昭和39年県の無形民俗文化財に指定されています。



御船祭

徐福伝説と天台烏薬

・今から2200年ほど前、熊野に渡来したと伝えられている徐福。徐福は秦の始皇帝に仕えた人で、不老不死の薬を探すように命じられ、熊野に来たといわれています。薬木「天台烏薬」（クスノキ科 常緑低木）を見つけた後、この地で永住した徐福。新宮駅近くに徐福公園があり、天台烏薬の葉のお茶（徐福茶）もあります。

新宮市ホームページ <http://www.city.shingu.lg.jp/>

～編集後記～

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、3週間余りが過ぎましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。さて、年末から年始にかけての日本列島は、冬型の気圧配置が強まり、全国的に厳しい寒さに見舞われました。和歌山でも平地に雪が舞い、山間部では山々が雪化粧する姿が見られました。

そうした中、鳥取県では大雪の影響により、国道が約25kmに亘って渋滞、約1千台の車が全く動けないという報道がされました。渋滞に遭われた方々にとっては、大変なことであったと思いますが、このような事態に際して、いち早く国道沿いにお住まいの方々が、おにぎりを配ったり、トイレを貸してあげるなど、被害に遭った皆さんを支えたそうです。

助けに出た住民の方々は、「困った時はお互いさま」「鳥取県にはもう来たくないなんて思って欲しくないから一生懸命助けた。」という優しさと思ひやりに溢れた内容のことを話されていました。ほんとうに頭の下がる思いがします。新年早々、大変感動し、清々しい気持ちになりました。

和歌山県にも、120年前、トルコ海軍のエルトゥールル号が串本沖で遭難し、地域の住民が懸命に救助にあたったという、誇るべき歴史があります。

人を助ける心、我がふるさと・地域を愛する気持ちの大切さが、全国に大きく広がっていくことをあらためて願う年始となりました。

これから、一年で一番寒いと言われる季節を迎えます。皆様方には、お体をご自愛され、健康でお過ごしになられますよう、心からお祈りいたします。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2011年(平成23年)1月 NO.33

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022